

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
B105	現代日本史	1年	講義	2	安藤哲
授業概要 近代日本の成立から第二次世界大戦への道程を概略して、戦後の復興・高度経済成長期を経て、現在の日本社会へ至る歴史過程を大局的に把握します					
到達目標(学習の成果) 近代日本社会の特徴と第二次世界大戦による崩壊、その後どのような条件下において諸課題を克服しながら、どのように現在の日本社会の秩序ができあがってきたのかについて、度量衡を含む基礎的事項や事象を学び、未来は過去の中にあることを認識して、今後も繰り返し起るであろう諸課題にも、歴史に学んだ大局的判断ができる広い教養と分析力を身につけます					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	戦後日本への道程①	歴史とはなにか、馬や豚に歴史はあるのか、discussionを通して理解を深め、また履修生の基礎知識を確認する			
2	戦後日本への道程②	明治維新という新しい近代秩序1 石高制経済社会の特徴と繁栄のメカニズムを理解する			
3	戦後日本への道程③	明治維新という新しい近代秩序2 横浜開港で石高制経済社会が機能を失っていく理由とその後を理解する			
4	戦後日本への道程④	第一次世界大戦から戦時体制へ1 新しい欧米秩序へキャッチアップする努力の過程と特徴を理解する			
5	戦後日本への道程⑤	第一次世界大戦から戦時体制へ2 欧米社会と肩を並べた意味を技術と社会構造の視点から理解する			
6	戦後日本への道程⑥	第一次世界大戦から戦時体制へ3 戦時体制が戦後改革につながる萌芽を生み出していた意義を理解する			
7	第二次世界大戦後の新しい秩序①	アメリカ的な社会制度の導入1 敗戦に至るまで日本社会で取り組まれた諸改革の成果と限界を理解する			
8	第二次世界大戦後の新しい秩序②	アメリカ的な社会制度の導入2 連合国軍による日本占領政策が果たした役割について理解する			
9	第二次世界大戦後の新しい秩序③	アメリカ的な社会制度の導入3 農地改革実施までの経緯と葛藤を理解する			
10	第二次世界大戦後の新しい秩序④	アメリカ的な社会制度の導入4 財閥解体実施までの経緯と実態を理解する			
11	第二次世界大戦後の新しい秩序⑤	アメリカ的な社会制度の導入5 世界の構造変化が日本占領政策の終りへとつながる過程を理解する			
12	戦後復興から高度経済成長へ①	戦後復興の構造1 戦後改革に強く影響を与えた国際環境についての概要を理解する			
13	戦後復興から高度経済成長へ②	戦後復興の構造2 戦後の産業が復興して行く過程を広く理解する			
14	戦後復興から高度経済成長へ③	戦後復興の構造3 戦後の産業復興が高度成長へ結実して行く過程を理解する。			
15	戦後復興から高度経済成長へ④	高度経済成長の本格化 高度成長が国内社会に及ぼした成果と課題について広く理解する			

準備学修(授業外の自己学修)

1. 毎授業時に配布する資料をよく読み不明な点を調べ、次授業で行う質問に答えられるようにする
2. 授業中にとりあげる歴史用語や度量衡を理解し説明計算できるようにする

成績評価の方法・基準(%表記)

定期試験 (100%)

観点	S	A	B	C
歴史的度量衡等を理解し、計算できる	理解し計算できる	理解しほぼ計算できる	ほぼ理解し一定程度計算できる	一定程度理解し計算できる
課題を歴史から学ぶことができる	学ぶことができる	ほぼ学ぶことができる	十分に学ぶことができる	一定程度学ぶことができる

教科書

使用しない

参考書等

毎授業時に資料を配布する

履修上の注意・学修支援

授業内容は連続性があるので、欠席しないよう心がけること、座席は任意ですが固定します
なお、準備学修や復習を通して生れた疑問や分からないことについては、授業後質問すること